

1 幼稚園・認定こども園教育目標等

やさしい心もち 自ら考え みなぎる元気な 園児の育成
<ul style="list-style-type: none"> ・ 友だちとのかかわりを通して、思いやりの心をも持つことのできる子 ・ よく考え、最後まで意欲的に取り組む子 ・ 体を動かす楽しさを感じ、何事にも積極的に挑戦する子

2 今年度の重点目標

<ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な体験、人や自然とのふれあいを通して、豊かな感性を育てる。 ・ 基本的な生活習慣を身に付け、将来を見据えた望ましい社会性を養う。 ・ 4歳児：豊かな遊びや生活の経験を通して必要な言葉を身に付け、いろいろな方法で表現することを楽しむ。 ・ 5歳児：友だちと一緒に園生活を十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活に取り組むとともに、主体的に行動して充実感を味わう。友だちとの関わりを通して社会における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割分担したりしながら目的を成し遂げる喜びを味わう。

3 学校自己評価項目の達成及び取組状況

(達成状況： Aよく達成できた B達成できた C課題がある D改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
重点目標	様々な体験、人や自然とのふれあいを通して、豊かな感性を育てているか。	A	幼小連携架け橋プログラムにおける交流活動を通して、園児と児童との交流を活発に行うことができた。小学校への憧れを持ち、スムーズな幼小接続につながっている。
	家庭と連携して、基本的な生活習慣を身に付け、将来を見据えた望ましい社会性を養えたか。	A	園と家庭とが連携して、身近自立をうながすように支援することができた。発達段階や個々に応じた基本的な生活習慣の意識づけを行うことができた。
教育課程・指導	友だちとの関わりを意識させ楽しく遊ぶための環境づくりや援助の在り方に取り組むことができたか。	A	学年の壁を越えて、園児同士が自然に関わり合い、遊ぶことができた。一つの活動が次への活動の意欲へとつながり、経験を積み上げることができた。
	丹波篠山市ふた葉プロジェクトに基づいて、眠育、食育の指導を行ったか。	A	園児の様子や睡眠や食の大切さ、活動の意義について、保護者へ折に触れ伝えていった。園児にも読み聞かせや日々の生活の中で指導している。次年度以降も、積極的に啓発していく。

4 幼稚園・認定こども園における学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・園児たちのしたいことを丁寧に聞きながら、教育内容に生かして、保育が展開されている。
- ・運動会やお楽しみ会など、行事や活動を終えるたびに成長を感じる。
- ・普段から園児の主体性を育む教育に取り組まれてきた成果であると考えている。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・積極的に活動し、元気が増している。行き渋りなく通園できている。
- ・年長組が、小さい子（年少組）に優しく接せるようになった。
- ・友だちが増え、友人関係が広がっている。
- ・着替え・準備など身の回りの自立ができるようになってきた。
- ・挨拶ができるようになり、少しずつ集団行動や発表会などできるようにもなってきた。
- ・運動会や参観日など人前で演技したり歌ったりすることができるようになってきた。
- ・幼稚園であった出来事を家で話してくれるようになった。
- ・自分の思いを相手に正しく伝えたり、自分の意見を言ったりできるようになってきた。
- ・八上幼稚園の職員を含め、良い環境の中で保育ができています。
- ・園評価では非常に良い評価である。園児数が少ないので、経年比較を行うことは難しいが、挨拶と身辺自立、自己表現については課題を感じている家庭が多い。次年度以降も継続して、園と家庭、小学校が連携して、がんばっているプロセス自体をほめ、習慣化につなげていきたい。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

評価項目	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
様々な体験、人や自然とのふれあいを通して、豊かな感性を育てているか。	幼小連携担当を小学校に引き続き位置付けることで、次年度以降も交流活動を積極的に進めていきたい。普段の園生活を見ていただく機会も作っていきたい。
家庭と連携して、基本的な生活習慣を身に付け、将来を見据えた望ましい社会性を養っているか。	学校運営協議会、PTAなど積極的に関わってくださっている。園・家庭・地域が同じ方向で園児に関わっていくことで、習慣化されていくと考える。今後も連携して切れ目のない支援を行いたい。
友だちとの関わりを意識させ楽しく遊ぶための環境づくりや援助の在り方に取り組むことができたか。	園における主体性を育む指導へ評価をいただいた。次年度以降も、園児のやりたいことを引き出し、活動が次の活動を促すように支援を続けていきたい。また、多様な人と活動とをつなぐこともさらに進めていきたい。
丹波篠山市ふた葉プロジェクトに基づいて、眠育・食育の指導を行ったか。	スマホやテレビなどの視聴の問題が睡眠や食事の問題にもつながっていく。対処療法ではなく、根本的な課題ととらえ、早寝早起き朝ごはんに加えて、よく遊ぶことも啓発していきたい。

